

ナガバヒゼンマユミ

学名 *Euonymus oblongifolius* Loes. et Rehd.

目名

目名学名

科名 ニシキギ科

科名学名 Celastraceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I A (CR)

NO IMAGE

[選定理由]

現在,日本においては「耶馬溪地区」のみに生育がみられる。個体数も極めて僅少。林内に生えるが,最近,その周辺地のものが伐採され,絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	耶馬溪地区
分布域	九州(大分)
世界的分布	中国(雲南,四川,湖南,江西,安徽,浙江,福建,広西)
生育環境	低地の林内。
現状	「耶馬溪地区」の神社林と神社境内の林縁に生育し,個体数は僅少。生育地が人里近いため草刈りや森林伐採で,個体数が減少している。
備考	ナガバヒゼンマユミ(初島住彦:日本新産植物2種 植物地理・分類研究 39(1)39-40 1991)。指定希少野生動植物。